



特定非営利活動法人日本防災士会 富山県支部

富山県防災士会会報

第6号

平成25年6月28日
発行 富山県防災士会
連絡先 090-5173-7430
(事務局：黒畑)

平成25年度通常総会

呉東・呉西ブロックでの 分担体制に移行

平成25年度通常総会は、3月23日、富山電気ビルに於いて開催された。

小杉会長は「新体制と共にネットワークの拡大を図り、信頼される強力な組織を作っていきたい」と挨拶。

審議の結果、全ての議案が提案通り承認された。

また、本会の災害時の活動を含めた「会員の活動指針」(素案)が報告され、更に議論を深めていくことが確認された。

会員数が増えたこともあり、今年度からは会の事業計画の遂行を、呉東と呉西の2ブロックに分け、会員の英知を出し合いながら実行する体制とする。

平成25・26年度の役員は次の通り。



開会の挨拶をする小杉会長

【会長】小杉邦夫、【副会長】山下廣継、《呉東ブロック長》松井克浩；《呉西ブロック長》中川 勲、【事務局長】黒畑喜昭、【事務局次長】《呉東》村崎正幸；《呉西》大坪清治、【会計】有澤康治、【理事】《呉東》嶋倉昌宏、関 恵一、笹川寮子、荻生喜美恵；《呉西》三井和弥、吉澤 実、明地兼二、【監査】《呉東》板川 守；《呉西》山本弘之、【顧問】小林光雄、【参与】大西宏治



《特別講演》 『立山砂防の オッカチャン応援隊』

平成25年度通常総会に先立ち、砂防をテーマにした特別講演があった。講師は立山砂防女性サロンの会アドバイザー、(株)よしともコミュニケーションズ代表取締役吉友嘉久子氏。まず、「立山砂防女性サロンの会とは素人のオッカチャンの集まりであり、女性の観点で砂防を勉強し、『災害』への危機感を持ち語っていこうという会である」との説明があった。

立山カルデラから常願寺流域への砂防工事の重要性について学習することが防災意識につながる。

「崩れの日本列島」と言われ、全国に危ない個所が52万ヶ所もある。

- 怖さを知ることが大切。
 - どこへ逃げればよいかを考えておく。
 - 自助、共助の精神で命だけは守る。
- こと等の大切さを豊富な体験談を交えて話された。

平成25年度 富山市公募提案型協働事業に採択！

富山県防災士会が代表団体となって、まちを変えるアイデアを提案した『防災・減災社会づくり～特に防災意識の啓発と家具の転倒防止について～』が採択されました。詳細は本会の掲示板でお知らせしています。

近隣支部間のより緊密な連携を進めるために

北信越地区連絡協議会設立へ

5月18日、北陸地区連絡協議会設立準備委員会が金沢市内で開催され、富山県支部からは小杉会長、山下副会長、黒畑事務局長が出席した。主な決定事項は次の通り。

- 名称は新潟県、長野県も含めた「北信越地区」とする。
- 会員は各県支部で構成し、会長職は輪番制とする。
- 設立総会は11月9日(土)に金沢市内で開催する。記念講演も行う。

春の消防防災フェスティバルに参加

昨年4月1日にオープンした県広域消防防災センター開館1周年記念事業として『春の消防防災フェスティバル』が5月3日、同センターで行われた。富山県防災士会は県からの協力要請により、小杉会長他5名が参加。

この日は天候に恵まれ、朝から大勢の親子連れらが消防車の展示や救助隊の訓練等を見学した。我が防災士会は同センター内の屋内訓練施設の中で災害パネル、家具転倒防止グッズ、簡易トイレ等の展示を行った。

特に身近な新聞紙を使ってのスリッパづくりや、チラシを使ってのコップづくりには予想以上の親子連れが参加。予め準備していた沢山の新聞紙も底をつく盛況ぶりだった。



出前講座 勉強会

吉澤防災士を講師に 地震災害、水害への備えや 避難の対処方法を学習

5月25日、富山市婦中ふれあい館にて防災士としてのスキルアップを図るための出前講座研修会が行われた。

吉澤防災士は特に次の点を強調された。

- あなたは、災害から生き残ることができますか？
- 地震や水害に対する備えはありますか。
- 災害時は自助が一番大切。
- まだ大丈夫の判断が一番危険。

新入会員
自己紹介

消防団との連携を図りたい

防災士 堀内昌樹

私は小矢部市消防団水島分団で団員を16年と小矢部市ケーブルテレビの水島地区特派員をしています。



以前から周りの人々の『防火・防災・救命』に対する意識の低さが気になっていたところに、東日本大震災がありました。

防災に関する本を多数買い、項目別にまとめ、整理してテキストを作成。水島分団として秋の公民館祭で200部配りました。そのことを知った元分団長の市議員の方から、昨年の8月に防災士養成研修の話を受けました。10月に受講し11月に認証され、今年1月に富山県防災士会に入会しました。

自身の防災士としてのスキルアップはもちろんですが、一般への防災士の認知度が非常に低いので、「消防団員・地区特派員」という立場を使い、①防災士と消防団との連携、②防災講座をケーブルテレビで放送する等、防災士のアピールが出来ないか考えています。

具体的には消防団の出初式への参加。これは小矢部の防災士の組織作りや各所への根回しが必要なので、すぐには実現できません。地区特派員は地区の行事の取材をするのが役割です。水島防災会で地区の行事として図上訓練を行い、撮影・編集すれば小矢部のケーブルテレビで放送出来ます。是非これを今年中に実現させ、防災士のアピールに貢献出来ればと思っています。

【実践的防災教育支援事業】

今年度も事業を継続

5月28日、県民会館にて県実践的防災教育総合支援事業推進委員会が開催された。

この委員会には富山大学 大西宏治准教授（本会参与）と小杉会長が委員に委嘱された。前年に引き続き大西准教授が座長を務められ、以下のことが決定された。

1. 事業内容
 - (1)防災に関する指導方法の開発・普及のための支援事業
緊急地震速報受信システムを活用した避難訓練等の実施
 - (2)学校防災アドバイザーの活用事業
学校防災アドバイザーの指導助言による学校防災マニュアルの見直し
 - (3)災害ボランティア活動の推進・支援事業
災害ボランティア活動についての学習による間接的ボランティア体験
2. 実施校
黒部市・村椿小学校、魚津市・村木小学校、富山市・四方小学校、射水市・堀岡小学校、高岡市・古府小学校、氷見市・海峰小学校の6校が選定された。
これに伴い本会には県教育委員会より学校防災アドバイザー（6名以内）の推薦を依頼されている。

平成25年度富山県総合防災訓練（概要）

5月27日、平成25年度富山県総合防災訓練の第1回関係機関打合せ会議が開催され、小杉会長と黒畑事務局長が出席した。会議で決まった主な事項は次の通り。

実施日：8月25日（日）8:30～12:00頃

場所：高岡市、射水市の8会場（当会は下表の7会場に参加）

主催：富山県、高岡市、射水市

共催：国土交通省北陸地方整備局

被害想定：

- ・ 呉羽山断層帯を震源にM7.4の地震が発生、高岡市、射水市で震度7を観測
- ・ 前日より県西部で豪雨発生

訓練会場と富山県防災士会の担当業務：

訓練会場		防災士会担当業務	計画担当者
第1会場 (本会場)	高岡テクノム周辺	・ 防災知識普及啓発 ・ 防災グッズの作成 ・ 防災〇×クイズ	有澤 吉澤 小川
第2～5会場 (高岡市)	伏木小学校 古府小学校 太田小学校 牧野中学校	・ 避難所開設運営	山下 松井
第7会場 (射水市)	放生津小学校 校周辺	・ 津波浸水想定区域の周知・住民図上訓練 ・ 防災知識普及啓発	大坪 明地
第8会場 (射水市)	本江コミュニティセンター周辺	・ 津波浸水想定区域の周知・住民図上訓練	

※8月25日（日）には、砺波市総合防災訓練も計画されている。当日は会場が分散しているため、多くの会員の協力をお願いしたい。

※9月1日（日）には、南砺市総合防災訓練が計画されている。

立山カルデラ体験学習会を計画しています

《トロッコ団体コース》

日時：10月3日（木）予約済
行先：立山カルデラ（行きトロッコ、帰りバス）
但し、荒天の場合は行先を変更。

集合場所：富山駅北口
7時40分出発～18時頃帰着

募集人員：20名限定
会費：3,500円（予定・昼食代込み）

※詳細は後日案内します。



富山県防災士会の会員数（5月末現在）

正会員：78人、準会員：2人、合計：80人

【編集後記】 新体制のもと、事務局が交代しました。不慣れなため、行き届かない点が多々ありますが、よろしくお願ひします。本号の印刷を試験的に専門業者に委託しました。感想、ご意見、ご要望をお寄せください。

